

JAえちご中越 さんとう地域「特別栽培米コシヒカリ」栽培暦

★ 消費者の皆様へ安全・安心な「JAえちご中越 さんとう産米」をお届けするために、化学合成農薬・化学肥料（窒素成分）を県認証地域慣行基準の1/2以下の使用量で栽培するものです。

月	4月					5月					6月					7月					8月					9月																		
日	5	10	15	20	25	5	10	15	20	25	5	10	15	20	25	5	10	15	20	25	5	10	15	20	25	5	10	15	20	25														
出穂前後日数	品種特性に合わせた作業計画の策定																																											
生育ステージ																																												
	<p>【作業目安】</p> <ul style="list-style-type: none"> 4月3日 浸種開始 4月13日 催芽 4月15日 播種 <p>田植え 5月5日～</p> <p>中干し開始 6月5日～10日</p> <p>最高分け時期 6月25日</p> <p>幼穂形成期 7月12日</p> <p>1回目穂肥 7月18日</p> <p>2回目穂肥 7月26日</p> <p>出穂期 8月5日</p> <p>収穫期 9月14日～</p>																																											
水管理	<p>田植え後→3～4cmのやや深水で植え傷み回避</p> <p>活着後→2～3cmのやや浅水で早期分けつ促進</p> <p>除草剤散布時→湛水状態(水深5～6cm)で散布</p> <p>中干し開始まで→浅水更新でワキの発生防止</p> <p>生育量を把握して遅れずに! 小ヒビが入る程度になったら終了</p> <p>飽水管理を継続 ⇔ タメ水厳禁 (異常高温時には一時湛水)</p> <p>フェーンの発生時: 地域の水利条件等に応じたこまめな水管理の徹底で夜間水温を下げる</p> <p>出穂後25日以降に最終かん水を実施!!</p>																																											
栽培管理のポイント	<p>Point 1 ~適正な作業計画の策定により健苗を育成します~</p> <ol style="list-style-type: none"> フェーン遭遇リスクを分散する播種計画~適期播種、適正な播種量、育苗期間20日程度で健苗育成 土壌診断結果にもとづく土づくり資材(有機質・ケイ酸)の施用 作土深15cmの確保~ほ場条件に応じた適正量の基肥施肥 →基肥N施肥量の目安: 「10a当たり3.0kg~3.5kg」 																																											
	<p>Point 2 ~適期田植えて初期生育を確保します~</p> <ol style="list-style-type: none"> 移植前追肥(べんとう肥)の施用→活着・初期生育を促進 田植期の目安は5月5日~10日 移植時期の分散・調整でフェーン遭遇リスクを分散 栽植密度: 60株/坪 植付本数: 3~4本/株 植付深さ: 2~3cmの浅植え *補植苗を速やかに撤去する 																																											
	<p>Point 3 ~生育状況にあわせて生育調節で過剰生育を抑制します~</p> <ol style="list-style-type: none"> 移植後25日にほ場ごとの茎数を確認~目標穂数の80%(280本/m²=16本)を確保→適期中干し開始 全ほ場で溝切り(10条: 3mに1本)→速やかなかん水・排水管理 本格的な梅雨入り前に地固め→中干しは小ヒビが入る程度になったら終了~遅くとも出穂30日前までに飽水管理へ移行 																																											
<p>Point 4 ~適切な水管理により稲体機能を維持します~</p> <ol style="list-style-type: none"> 中干し以降は、田面が強く乾くことのないよう飽水管理を継続(強い中干し・タメ水→厳禁) 出穂後25日以降に最終かん水を入水(落水は出穂28日以降)、かん水が困難な場合はかん水可能終期に湛水する 異常高温時には、速やかに一時湛水~高温障害を防止 																																												
<p>Point 5 ~適切な生育診断による穂肥施用→品質・収量を確保します~</p> <ol style="list-style-type: none"> 1回目穂肥は生育状況に応じて出穂前18日~15日に施肥(生育のムラ直し→ムリのない施肥) 後期栄養確保に向け、2回目穂肥(出穂前10日)は確実に施肥 出穂期の葉色値が32を下回ると予想される場合や登熟期間の高温予想時には、追加穂肥を施用(基肥一発肥料使用ほ場も同様) 																																												
<p>Point 6 ~適期刈取、適切な作業により高品質米に仕上げます~</p> <ol style="list-style-type: none"> 出穂後の積算気温: 1000℃、籾の黄化程度(85~90%)を確認~適期に収穫する →異常高温が予想される場合には早めの収穫を検討する 適切な乾燥・調製作業による高品質米仕上げ 収穫後は早めに土づくり資材の投入+稲わらの秋すき込み 																																												
<p>※1 窒素成分のうち化学合成由来窒素を3.5kg以内に抑える</p> <p>※2 栄養状態が確保できない場合は有機質100%肥料を追加する</p> <p>※3 越後の輝き有機50スーパー元肥の施肥量は、40~50kg/10a程度とする</p>																																												
<p>◆1 1回目の穂肥は、生育ムラ直しを重視した「ムリのない穂肥」を適期・適量施肥→“籾数確保と倒伏防止”</p> <p>◆2 2回目の穂肥は、後期栄養確保に向けた「出穂10日前: しっかり穂肥」を確実に施肥</p>																																												
<table border="1"> <caption><<施肥量の目安>> (成分 kg/10a)</caption> <thead> <tr> <th>施肥区分</th> <th>窒素</th> <th>リン酸</th> <th>カリ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基肥</td> <td>3.0~3.5</td> <td>2.5~3.0</td> <td>2.5~3.0</td> </tr> <tr> <td>穂肥①</td> <td>1.0</td> <td>0.4</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td>穂肥②</td> <td>1.5~2.0</td> <td>0.4~0.6</td> <td>0.6~0.9</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>5.5~6.5</td> <td>3.3~4.0</td> <td>3.7~4.5</td> </tr> </tbody> </table>																									施肥区分	窒素	リン酸	カリ	基肥	3.0~3.5	2.5~3.0	2.5~3.0	穂肥①	1.0	0.4	0.6	穂肥②	1.5~2.0	0.4~0.6	0.6~0.9	合計	5.5~6.5	3.3~4.0	3.7~4.5
施肥区分	窒素	リン酸	カリ																																									
基肥	3.0~3.5	2.5~3.0	2.5~3.0																																									
穂肥①	1.0	0.4	0.6																																									
穂肥②	1.5~2.0	0.4~0.6	0.6~0.9																																									
合計	5.5~6.5	3.3~4.0	3.7~4.5																																									
<table border="1"> <caption><<中干し開始の目安>></caption> <tbody> <tr> <td>目標穂数の80%</td> <td>280本/m²</td> </tr> <tr> <td>1株当たり茎数</td> <td>16本/株</td> </tr> <tr> <td>葉数</td> <td>7.0葉</td> </tr> <tr> <td>田植後日数</td> <td>30日</td> </tr> </tbody> </table>																									目標穂数の80%	280本/m²	1株当たり茎数	16本/株	葉数	7.0葉	田植後日数	30日												
目標穂数の80%	280本/m²																																											
1株当たり茎数	16本/株																																											
葉数	7.0葉																																											
田植後日数	30日																																											
<table border="1"> <caption><<1回目穂肥施用の目安>></caption> <tbody> <tr> <td>幼穂長</td> <td>0.5~1.0cm</td> </tr> <tr> <td>草丈</td> <td>70~75cm</td> </tr> <tr> <td>茎数</td> <td>22本/株</td> </tr> <tr> <td>葉数</td> <td>11.5葉</td> </tr> <tr> <td>葉色</td> <td>34</td> </tr> </tbody> </table>																									幼穂長	0.5~1.0cm	草丈	70~75cm	茎数	22本/株	葉数	11.5葉	葉色	34										
幼穂長	0.5~1.0cm																																											
草丈	70~75cm																																											
茎数	22本/株																																											
葉数	11.5葉																																											
葉色	34																																											
<table border="1"> <caption><<品質向上・収量確保目標>></caption> <tbody> <tr> <td>玄米1等級比率</td> <td>90%以上</td> </tr> <tr> <td>10a当たり収量</td> <td>510kg</td> </tr> <tr> <td>玄米タンパク含量率</td> <td>6.0%</td> </tr> </tbody> </table>																									玄米1等級比率	90%以上	10a当たり収量	510kg	玄米タンパク含量率	6.0%														
玄米1等級比率	90%以上																																											
10a当たり収量	510kg																																											
玄米タンパク含量率	6.0%																																											
<table border="1"> <caption><<品種特性>></caption> <tbody> <tr> <td>早晩生</td> <td>耐倒伏性</td> <td>稈もち・穂もち</td> <td>紋枯病</td> </tr> <tr> <td>中生</td> <td>弱</td> <td>真性抵抗性を持つ</td> <td>やや強</td> </tr> </tbody> </table>																									早晩生	耐倒伏性	稈もち・穂もち	紋枯病	中生	弱	真性抵抗性を持つ	やや強												
早晩生	耐倒伏性	稈もち・穂もち	紋枯病																																									
中生	弱	真性抵抗性を持つ	やや強																																									
<table border="1"> <caption><<収量構成要素>></caption> <tbody> <tr> <td>収量 (kg/10a)</td> <td>1穂籾数 (粒)</td> <td>穂数 (本/m²)</td> <td>m²籾数 (粒)</td> <td>登熟歩合 (%)</td> <td>千粒重 (g)</td> </tr> <tr> <td>510</td> <td>80</td> <td>350</td> <td>28,000</td> <td>83.0</td> <td>22.0</td> </tr> </tbody> </table>																									収量 (kg/10a)	1穂籾数 (粒)	穂数 (本/m²)	m²籾数 (粒)	登熟歩合 (%)	千粒重 (g)	510	80	350	28,000	83.0	22.0								
収量 (kg/10a)	1穂籾数 (粒)	穂数 (本/m²)	m²籾数 (粒)	登熟歩合 (%)	千粒重 (g)																																							
510	80	350	28,000	83.0	22.0																																							